

# 公営結婚式 閉幕



中野市公民館報

2009 **12**  
No.57  
(通巻 No.589)  
発行 中野市中央公民館  
編集 文化なかの編集委員会  
〒383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
TEL 0269-22-2691  
FAX 0269-26-2342



～多くの見学者でにぎわった展示・頒布会～

## 衣装の展示・頒布会が開催

中野市公営結婚運営委員会は10月29、30日、公営結婚式で使用した衣装などの展示・頒布会を中央公民館で開催しました。

昭和の時代、結婚式を公民館で挙式する人が多数いましたが、平成6年以降は利用者がなく、同委員会で今後の方向性を検討した結果、衣装などを希望者に頒布し、同委員会は解散することにしました。

会場では着物や打掛、モーニング、髪飾りなど約250点を展示し、約200人の来場者が、想い出の品々を眺めていました。

最後の機会にと見学する人や想い出を懐かしむ声も多く聞かれ、品を手にした人からは笑顔が溢れていました。

今月号の特集

・公民館の

文化祭

## あおぞら

平岡小学校創立百周年記念式典に出席した。体育館の壁一面に張り巡らされた児童の絵画。全校がひとつになつて歌い上げた合唱。竹原の小沢さんが作ったバイオリンを使ったコンサート等、素晴らしい式典だった。

長い間、学校に貢献したとして表彰を受けた方の中に、東京都在住で理美容業を営む細谷さんという方がいた。細谷さんは疎開先の平岡小学校での生活が自分という人間を作った基盤だといひ、長期にわたり多額の図書券(カード)を寄贈し続けている。なるほど、平岡小学校の図書館は蔵書も多く充実しており、寄贈された図書は子どもたちから「細谷文庫」として親しまれている。

祝賀会の席で、細谷さんと話をすることができた。我が家の子ども達も図書館の本をずいぶん読ませていただいた。毎年多額の図書カードを贈っていた。いて本当にありがとうございます。と言つと、細谷さんは、「子ども達から心のこもった手紙や気持ちいい言葉をいただいて感謝しているのは私の方です。今、六十八歳ですが、こうして元気に働いていられるのは疎開先での生活があったからこそ。図書カードの寄贈は私が死ぬまで続けます」とおっしゃった。(清水)

# 豊田公民館の文化祭

## 文化・芸能活動の拠点

### 豊田公民館

10月23日から25日までの3日間、中野市豊田文化センターで第5回豊田公民館文化祭を開催しました。

施設を拠点に活動している豊田地域住民、サークル、団体の日頃の成果の発表の場のほか、文化芸術に親しむことが目的です。内容は、作品展示、映画鑑賞会、音楽芸能発表会です。

今回で5回を数え、作品展示は前年度より2団体増え、発表のいい機会になりました。写真、水墨画、絵画、書、市松人形などが並ぶ力作の前では、見入る方が大勢いました。特に市松人形の表情の豊かさが心に響きました。

毎年好評の映画鑑賞会は、子どもと大人向けに2本を上映し、大人向けは話題の「おくりびと」でした。

音楽芸能発表会は最終日に開催し、15団体が発表しました。合唱、舞踊、楽器演奏のなかで一際目立ったのが「トーンチャイム」。以前、サークル紹介を



豊かな表情の市松人形

した団体です。初めての大舞台にもかかわらず、堂々と演奏をしていました。会場の皆さんも透きとおった音色に、聞き入っていました。

もみじ太鼓と故郷太鼓のコーラボレーションも好評でした。公民館講座から発足したもみじ太鼓と、子どもが中心の故郷太鼓。演目も年齢構成も違うそれぞれのメンバーは、初めてのコーラボレーションで、会場いっぱい迫力の音色を響かせていました。

## 地域文化の創造

### 北部公民館

北部公民館は11月7・8日、第23回地域文化創造祭・北部公民館文化祭を開催しました。

作品展では、科野小学校全児童の絵や書道などの作品。科野地区展、北部公民館の講座受講生、利用サークルの絵手紙や生け花、陶芸など多種多様な作品が出品され、大勢の来館者が鑑賞していました。7日は「高社山の思い出と歩く健康」と題し、元北信病院副院長で下伊那厚生病院長

の杜浦康三先生の講演会を行いました。

8日は芸能祭を開催し、平岡小学校合唱団やのぞみの郷高社ぼっふさーくる、北部地域の地区からそれぞれ選りすぐりの2団体など12グループが出演し、子ども太鼓、踊り、コカリナ演奏、落語、社交ダンス、子どもバレエなどを披露。大いに会場を盛り上げていました。



力強い演奏～金井子ども太鼓～



平岡小学校合唱団の澄みわたる歌声

中野市総合文化祭は中野市文化芸術協会に加盟する芸能・文化団体がそれぞれ芸能祭・文化展を開催し、今年で37回目となりました。

10月24日には市民会館で芸能祭を開催し、23団体400名が日頃の練習の成果を披露し、多くの来場者を魅了しました。

文化展は毎年えびす講に合作せて開き、12団体360名の作品を、11月14・15日、中央公民館全館に展示しました。



芸能祭は23団体が出演

開催期間の2日間で約230名の来館者があり、絵画、おもと、華道、書道といった作品を興味深く眺めていました。同日、中央公民館に併設する働く婦人の家でも、「働く婦人の家利用者の会フェスティバル」を初開催しました。眉・アイメイクなどの体験コーナーや、サークル発表、作品の展示や販売などで来館者を楽しませ、賑わっていました。



人気だった体験コーナー「眉・アイメイク」

## 37回目の総合文化祭

中央公民館

## 集い・学び・交流

西部公民館

西部公民館は11月14・15日、文化芸術活動の発表の場や文化芸術に親しみ、鑑賞する機会として、19回目の文化祭を楽しく賑やかに開催しました。

開館以来、地域の皆さんの交流や仲間づくり、学習文化活動を通して健康で明るく豊かな人生を送るための生涯学習の「地域文化の中心的な拠点づくり」に努めてきました。

玄関前では安源寺子ども会の花が来館者を出迎え、高丘小学校、中野平中学校は絵画、書道、陶芸、点刻、家庭科作品など。利用団体やサークルは写真、押絵、陶芸、絵手紙、籐工芸など、創造性を発揮して素人域を超え、課題を極めた作品の数々を大勢の来館者に鑑賞してもらいました。

芸能発表会では、地域で活動するサークルや利用者グループなど、幅広い年代の皆さんが「集い」、学習の場を通じた仲間との「学び」の集大成として、趣向を凝らした舞台発表が行われました。特に



優しい音色のオカリナ演奏

開館以来継続しているグループの発表や、将来夢のある子どもや中高校生のはつらつとした元気なダンスには、目を見張るものがありました。大勢の地域の皆さんの作品、様々な年代を超えた出演団体やサークルの演技など、文化芸術活動を通して交流や人づくり「活かし」、出演者と鑑賞者が一体となって「楽しんで」過ごした2日間でした。

## こんにちは 分館

越区は中野市の北部・科野地区に位置し、高社山を背に広大な果樹地帯が広がっています。越智神社を囲むように、160戸ほどの小さな集落です。昔から世帯数も変わらず、まとまりの良い穏やかな地区です。

主な事業としては、敬老会・親睦マレットゴルフ大会を行っています。敬老会は、来賓のご

## 越分館

参列を頂き盛大に開催することができ、毎年出席できるのを、楽しみにしていると聞き、大変うれしく思います。これから多勢の皆様に参加して戴けるよう企画したいと思えます。以前、区民親睦球技大会を開催していましたが、人集め等が困難になり、その後マレットゴルフに切り替え今年で6回目を迎えました。当日は快晴に恵まれ、和気藹々と楽しい大会となり、終了後の慰労会も盛り上がりました。分館にご協力戴く、さつきの



盛会だった敬老会

会、踊りの会、生け花会等趣味の会の皆様方と連携し、区民の交流・親睦をさらに深められるよう考えていきたいと思えます。  
(分館長 池田 栄一)

## ふるさとの歴史

越の越智神社は「延喜式神名帳」(延長6年・928完成)にある式内社の後身という。延長6年といえは千年以上も昔であった。当時の中野北部は笠原牧はなかったが、神社の周辺には、牧の住民がいたものと思われる。越智神社が越の氏神となるのは、越村の成立まで待たねばならない。記録上は慶長7年(1602)である。村名は当然のことながら神社名の一字をとって、越村と命名したのだと

## むら下にある氏神

いう。ところで氏神が村下にあるのは珍しい。原因は越の村落移動にある。越の元の村落は、越橋より下の夜間瀬川河床から南へかけて広がっていたため、時々水害に

越智神社を称するお宮が越の他に幸高(須坂)、森(若穂)の二カ所にあり、それぞれ式内社を唱えている。

ところで、越の越智神社の境内に祭神「御穂須々美命」の大きな碑がたっている。神代文字というが、社号問題がでてきた江戸時代中頃に越の氏子たちが建てたものようである。もちろん、社格論争を有利に運ぼうとしたためと思われる。こうした歴史的任務をおって建てられた神代文字碑をいまなお区民によって大切に守られている。

(田中 毅)

## 近所ニュース

### 利用者の会

### フェスティバル

働く婦人の家利用者の会フェスティバルが11月14・15日、働く婦人の家で開かれました。会場ではサークル発表会、作品の展示・販売などで来館者を楽しませています。また、今年から来館者が体験できる、眉・アイメイク、フラワーアレンジメントなどのコーナーも開設され、人気でした。

同日は、併設する中央公民館で文化展、勤労者福祉センターで産業展も開かれ、それぞれの会場を来館者が見学し、会場周辺は大いに盛り上がりつつあります。



フラワーアレンジメント体験コーナーの風景

## 今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

中央公民館	講座名	日時	場所	講師	備考
	公民館ギャラリー		みずえ会の絵画展		
北部公民館	<b>昼下がりのKaQiLa(カキラ)</b> ※ヨガスタイルの機能改善 エクササイズです	・1/18・25 ・2/1・8・15・22 13:30~14:30 (全6回 毎月 月曜日)	北部公民館	カキラ 認定指導員 宮崎 栄子 先生	<定員> 30名 <受講料> 無料 <持ち物> 飲み物、汗拭きタオル バスタオル or ヨガマット <申込み> 1月4日(月) 13:30 から
西部公民館	<b>ものづくり教室</b>	1/9(土) 10:00~12:00	西部公民館	長野県食生活 改善推進協議会 顧問 原 楯 さん	<定員> 20名 <受講料> 材料費として 300円 <持ち物> エプロン、三角巾、マスク <申込み> 12月8日(火)から
	<b>機能改善 エクササイズ(カキラ)</b> ※昼間参加できない方の た めの夜間の講座です	・1/13・20・27 ・2/3・10・17・24 19:00~20:30 (全7回 毎月 水曜日)	西部公民館	カキラ 認定指導員 宮崎 栄子 先生	<定員> 30名 <受講料> 無料 <持ち物> 飲み物、汗拭きタオル バスタオル or ヨガマット <申込み> 12月8日(火)から
豊田公民館	<b>素敵にウォーキング</b>	・1/5・19・2/2 14:00~15:30 (全3回 毎月 火曜日)	豊田公民館	斉藤 義人 先生	<定員> 30名 <受講料> 無料 <持ち物> 運動ができる服装 運動靴、タオル、飲み物
	<b>笑顔のストレッチ</b>	1/7(木) 14:00~15:30	豊田公民館	丸山 陽子 先生	<定員> 25名 <受講料> 無料 <持ち物> 鏡
	<b>ものづくり</b>	1/9(土) 10:00~12:00	もみじ荘	信州中野 ふるさと交流団	<定員> 20名 <材料費> 100円 <入場料> 無料 ※入浴の場合は実費 <持ち物> はさみ、お盆、エプロン

## 新春の集い



日時

1月2日(土)

10:45 ~ 11:30

場所

中野市豊田文化センター駐車場

内容

太鼓演奏(故郷太鼓)、きのこ汁の無料提供

### ○ 中央公民館からお知らせ ○

中央公民館では12月中旬から1月にかけて補修工事を行います。期間中は全館閉鎖とさせていただきます。ご不便をおかけしますがご理解、ご協力をお願いします。

### 訂正とお詫び

11月号「特集 地域の秋祭り」の名称につきまして誤りがありましたのでお詫びし、訂正いたします。

(誤)

赤岩区の高社神社

(正)

赤岩区の高杜神社



ドングリ／一本木 (月岡尚雄)

花 はな 郷 さと  
Flower Home



バラのような葉牡丹／新野 (I)



つわぶき／新保 (E)

花と季節の写真  
募集

宛先

☎ 383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
中央公民館  
☎ 22-2691  
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。  
氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。  
匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

師走とともに雪の季節が訪れた。今、地球上の難問である環境・エネルギー・食料の問題はみな、「水」に関係している。人類をはじめすべての生命は「水」から生れたと学んだ。  
地球は「水の惑星」と言われるが、地球上の「水」のうち淡水は2%強に過ぎないと計算されている。「水」は地上に平等には降り注いでいない。米を一トン生産するには「水」が二千六百五十九トン、牛肉一トン生産するには一万六千トンの「水」を要するという。  
二十一世紀以降の人類の存亡を決めるのはまさしく「水」であると思われる。地球の真水を大切にしなければならぬと思う。  
「ふるさとの清き水」の恵みに感謝したい。